

令和 7 年 6 月 1 8 日
区連会 6 月 説明 資料
下水道河川局河川流域整備課
下水道河川局河川流域調整課

帷子川の環境整備について

1. 趣旨

旭区内を流れる帷子川では現在、治水安全度向上のための河川改修を進めています。また、この河川改修に合わせて、環境に配慮した水辺空間の整備（以下、「環境整備」という。）を検討しています。今後、地元の小学生とのワークショップなどを行いながら、環境整備の方向性をまとめていきたいと考えていますので、情報提供いたします。

2. お願いしたいこと

区連長、地区連長におかれては、ご承知おきください。

親水拠点【3.（3）-イを参照】のある地区（鶴ヶ峰地区町内会連合会・今宿地区町内会連合会・川井地区町内会連合会）の地区連長の方には別途個別にご説明に伺います。

3. 帷子川の河川整備について

（1）帷子川の概要

- ・二級河川 帷子川
- ・河川延長：17,340m（横浜市施工区間 6,170m）
- ・流域面積：57.90km²
- ・特徴：帷子川は旭区の流れ、「アユが遡上する街、ヨコハマ」のモデル河川として、魚道整備や生息環境の改善などに取り組んでおり、河川改修で川底を掘り下げる際には、遡上するアユなどの生態系にも十分配慮して進めます。



図：横浜市施工区間

（2）帷子川の河川改修（治水対策）

県と市の施工区間の境界である中堀川合流点から上流に向かって、既に時間降雨量約 50mm に対応する改修が完了している区間から、時間降雨量約 60mm の流量に対応できる断面への改修に着手しています。

なお、さらに上流の未改修区間においては、当面、時間降雨量約 50mm 対応の改修を進めています。

(3) 帷子川の環境整備

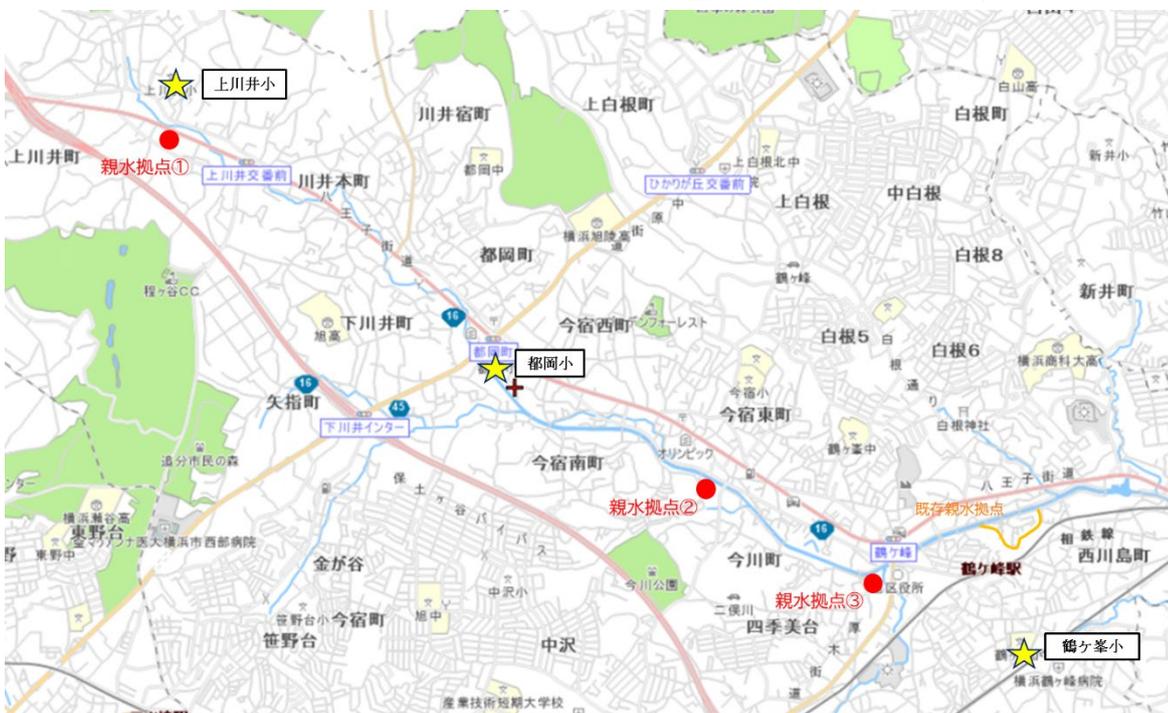
治水安全度の向上に合わせて、帷子川全体でまとまりのある河川環境整備を推進することで、憩いの空間として帷子川が地域の皆さまに長く親しまれるよう、下記の3つの親水拠点を整備することなどを盛り込んだ、帷子川環境整備案を令和7年度中にまとめる予定です。

環境整備案をまとめるにあたっては、「横浜市子ども・子育て基本条例」（令和7年4月1日施行）の趣旨も踏まえ、子ども達の意見をお聞きしたいと考えていますので、小学校においてワークショップを開催する予定です。

ア 区内小学校でのワークショップの開催

環境整備を予定している親水拠点に近い旭区内の小学校3校（上川井小学校、都岡小学校、鶴ヶ峯小学校）を対象に、6～7月を目途にワークショップを開催します。児童の皆さんとともに、実際に帷子川を見て、触れたうえで、帷子川でどんなことがしたいか、将来どんな帷子川にしたいか、などについて意見交換したいと考えています。

イ ワークショップの開催を予定している小学校と整備予定の親水拠点の位置関係



①学校橋【上川井小学校】



引用：Google マップ

②高山橋【都岡小学校】



引用：Google マップ

③二俣川合流点【鶴ヶ峯小学校】



引用：Google マップ

(4) 今後の予定

帷子川環境整備案ができた段階で、改めて報告いたします。